

令和7年度第2回大分県高齢者福祉施策推進協議会 議事概要

1 日 時 令和8年2月19日(木) 13:30~15:00

2 会 場 大分県社会福祉介護研修センター 302研修室
(大分市明野東3丁目4-1)

3 出席者

(委員) 20名中17名出席

佐藤(章)会長、阿部委員、市川委員、伊藤委員、大嶋委員、小川委員、小野委員
加来委員、川野委員、河村委員、古賀委員、佐藤(智)委員、谷口委員、藤澤委員
牧委員、松本委員、峯委員 ※欠席:内田委員、神田委員、富高委員

(事務局)

柳井審議監

渡邊高齢者福祉課長、廣門介護システム改革推進監、赤峰主幹(長寿・援護班総括)
塩月主幹(介護保険推進班総括)、須浦主幹(介護サービス事業班総括)、
野中主幹(人材確保・DX推進班)、福山主事(長寿・援護班)
ほか関係課室(幹事等)

4 議 題

- (1) 令和8年度当初予算案について
- (2) 令和8年度地域医療介護総合確保基金の介護分の県計画について
- (3) 「おおいた高齢者いきいきプラン〈第10期〉の策定」について
- (4) 意見交換

5 会議経過

議題(1)、(2)、(3)について、事務局から以下の資料に基づき説明を行った。

- ・資料1: 令和8年度当初予算案について
- ・資料2: 令和8年度地域医療介護総合確保基金の介護分の県計画について
- ・資料3: 「おおいた高齢者いきいきプラン〈第10期〉の策定」について

(4)の意見交換も含めた、主な質疑・意見は以下のとおり。

<日本人の介護人材に対する支援について>

●川野委員

日本人の介護人材をどうやって育てていくか考えを教えて欲しい。

○渡邊課長

働きやすい職場づくりを作る事業所を認証するふくふく認証制度や子どものための福祉講座、介護の日のイベントといったことを実施しております。また、県外からも大分県に移住していただき、介護職に就職していただくような介護のスキルアップ移住も行っております。

<認知症コーディネーターについて>

●古賀委員

若年性認知症相談支援体制整備事業についてですが、現在県内全域を2名のコーディネーターで対応しているので、各市町村に準コーディネーター的な方がいれば良いと考えています。

○渡邊課長

各圏域ごとにある認知症疾患医療センターや各市町村にいる認知症地域支援推進員にご協力いただきながら県内全域をフォローしている状況ですが、より充実した体制整備に向けてコーディネーターの人員増なども含めて検討していきます。

<子どものための福祉講座事業について>

●佐藤（智）委員

子どものための福祉講座事業についてですが、県内の小中高生や生徒の保護者を対象に福祉講座や福祉体験学習を行うと書いてありますが、これに対する広報の仕方を教えてください。

○渡邊課長

大分県社会福祉介護研修センターに依頼して、福祉に興味のある小中高生に声をかけさせていただいているのですが、授業の関係もあって中々時間を確保していただくのが難しい状況にあります。今後も大分県社会福祉介護研修センターと一緒に働きかけを強めていきたいと思っております。

<介護現場のICT化について>

●加来委員

ICTの導入や介護ロボットの導入を推進されていると思いますが、詳しい職員が少ないことを理由に導入後あまり使用をしないと聞かれますので、第10期を作成するうえで評価項目にメンテナンスのフォローを入れていただきたいと思います。

○廣門介護システム改革推進監

介護現場につきましては全国に先駆けて、大分県社会福祉介護研修センターに介護研修サポートセンターを立ち上げ、アドバイザーを3名配置しています。また、各圏域ごとにモデル施設を設置し、その中で人材育成等も併せて行っております。医療現場においてはICTモデル施設の導入ということで、今年モデル病院を3病院作らせていただ

いております。今いただいた意見を踏まえて、第10期の計画を策定させていただきます。